

五新聞

05. No. 100
 市田出夫
 発行

楽しんで 8月

祖谷

祖谷の段々畑に、そばの花が咲きはじめ、タカサゴエリの白い花があらう。こちに咲きほころびています。
 今年の8月には、何日振りという少雨で飲み水の詰りが日漸会話の中心でした。そんな8月ですが、奥祖谷夏祭りをはじめ、様々な楽しみで祖谷を満喫しました。
 龍岩産コネー山では、ふとむとらと、オの葉や流木を使うこの工作。そして、祖谷川での川遊び。
 川遊び当日には、久しぶりの雨が祖谷地区に降り、中止したのですが、昼頃、雨がや



今日福(祖谷川)での川遊び

み、香川県より遊びに来た子供たちが遊み、井にこいた事もあり、急キヨ東施。
 狭作り、今年橋からのでらうで遊びました。時々小雨が降ったりしたけど、子供たちは元気なもので、何時間も水の中、夢中にはなっていました。
 久しぶりに祖谷川にふとむとらと、この夏は、山が響きまわたり、60年代の頃があるいさよ山にりしましたよ。やぶり、子どもの泣きまわ、遊びの中での元気の音が聞こえるところと、山人が大人と元気になれそうぞうぞう。
 また、城遊びは、一回度施。ちいおりの皆さんに呼びかけ、大人だけで、ふとむとらのように遊びました。この日は、ふとむとらには、夏休みの宿題の仕上げが参加しませんでしたが、城も二組で、数時間の祖谷を楽しくしました。
 龍岩産コネー山にも多数のお客さんが訪れ、自然の中での、祖谷の園を感じていただき、満足されたコネー山が、多く書きかれています。
 いという事で、祖谷の八月を十分楽しめました。九月になると朝夕涼しくなり、一気に秋の気配。秋の紅葉も、山やズズスライ、祖谷を楽しくする一つです。

なんぞたて 祖谷自慢

祖谷には山ばかり、だとおもってしまいませんか。そんなことありませんよ、という事を二三、ここ数年でグッと有名にいつた名産地だの奥山。おもむき話しかけたくなる誘いのおぼろげ。最近では、そばに様々な園芸も増えています。下記の記事もその一。不思議な空間があります。その他にも、美味しいものも少なくありません。トーフ、コニヤク、山ガキ、そばが田舎セト。山ガキは、炭で焼いてせせぎミで食べるのが一番。ただの山ガキではありませぬので、一度食べてみて下さい。そして、トーフ。奥祖谷にトーフ屋が三軒。小山商店経営、栗枝トーフ店経営、吉田トーフ店が

名産地 神(?)の守り



上)があり、それ以外の園はありつて、かまいません。さて、休んでしまいましたが、9月より、お楽しみした「ヒバパー」のパン。天然酵母のパンは、が違います。祖谷の一品です。
 奥祖谷ホテルの「そば米雑炊」山菜料理、民宿「龍岩」の「みだん」もおすすめです。
 その他、祖谷にはありませんが、剣山山頂に、ソノのおごんは、登山客が楽しんでいる。旧一軒の「田舎」で、そばと、うどん、うどんは、ぜひ食べて下さい。また、ラッセル剣の山菜料理は、味づいて、決して損はくませぬ。
 と、味自慢
 めんめい、ひらうは、予約制ですが、興味ある料理で、うまみ、です。
 祖谷の「米」は、ぜひ、そば以外の料理を、楽しんで、祖谷を、味わって下さい。
 そうそう、京料理の「うどん」も、うまいよ!!